

【オプトアウト公開文書】

対象者またそのご家族の方へ

長崎記念病院では 2026 年 6 月 19 日付けで長崎記念病院倫理委員会の承認（承認番号：202601）を得て、下記の研究を実施しています。ご協力とご理解をお願いいたします。

なお、研究への参加は拒否することができ、拒否をしても不利益を被ることは絶対にありません。

<オプトアウトの対象となる方>

2024 年 9 月～2025 年 12 月の期間で、脊椎椎体骨折（腰椎または胸椎の圧迫骨折）と診断され、長崎記念病院の一般病棟および回復期リハビリテーション病棟（3 階東病棟または 3 階西病棟）に入院された方。

研究の拒否をする場合は、下記の問い合わせ先まで電話またはメールにてご連絡ください。なお、ご連絡の期限は 2026 年 10 月 31 日までとさせていただきます。

<研究テーマ>

骨粗鬆症性脊椎椎体骨折後の歩行獲得に関連する要因の探索—決定木分析を用いた検討—

<研究目的・意義>

脊椎椎体骨折は骨粗鬆症性の骨折の中で最も頻度の高い骨折です。脊椎椎体骨折を受傷し入院された方の中には、移動能力の低下から日常生活が制限され、元の生活場所に戻ることができない方もいらっしゃいます。そのため、入院早期に歩行能力の低下を予測し、それに応じた対応やリハビリテーションを実施することが重要となります。本研究は、入院時の多角的な情報から、退院時の移動能力の低下を予測することができるか？ということ明らかにするためにを行います。本研究により、入院時の情報から退院時の歩行能力低下を予測することができれば、早期からの重点的なリハビリテーションの提供や適切な退院支援に繋がります。

<研究方法>

1. 2024 年 9 月～2025 年 12 月に脊椎椎体骨折の診断で長崎記念病院に入院し、リハビリテーションが実施された方を選択します。
2. その方々の基本的な患者情報（年齢、性別、発症日、入院日、退院日、身長、体重、Body Mass Index(BMI)、既往歴）と、入院前の虚弱度（どれくらい日常生活で介助を必要としているか）、認知機能、日常生活動作能力、歩行能力のデータを収集します。
3. 統計学的手法を用いて、退院時の歩行能力低下に影響する要因を求めます。

<研究期間>

2026 年 6 月～2026 年 10 月

<利用する試料・情報とその取り扱い>

1. 基本情報：年齢，性別，発症日，入院日，退院日，身長，体重，Body Mass Index(BMI)，既往歴
 2. 入院前の虚弱度：Clinical Frailty Scale (CFS)
 3. 認知機能：Mini-Mental State Examination (MMSE)
 4. 日常生活動作能力：Functional Independence Measure (FIM)
 5. 入院前および退院時の歩行能力：Functional Ambulation Categories (FAC)
- 上記のデータは個人の氏名がわからないように匿名化し取り扱います。
 - すべてのデータは本研究以外の目的で使用しません。
 - データの保管は長崎記念病院リハビリテーション部の鍵のかかる保管庫で管理します。研究が終了後，保管していたデータについて，紙媒体は破棄しデジタル化したものは永久保存します。
 - 研究結果は学会で公表しますが，個人は特定できないようにします。

<研究組織>

研究責任者：森脇 麻美子

社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部

共同研究者：片岡 英樹

社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部

<問い合わせ先>

〒851-0301 長崎市深堀町 1 丁目 11-54

社会医療法人長崎記念病院リハビリテーション部

研究責任者：森脇 麻美子

TEL（長崎記念病院）：095-871-1515

E-mail：m.moriwaki.122@gmail.com